

科目：日作文

系所組：日本語文學系碩士班

・次の三つの設問を読んで、日本語の作文を書きなさい。

1 できるだけ自慢している感じにならないように、400字程度で自己PR(自己宣伝)をしてください。(40%)

2 次の枠内の文章は村上春樹の「日本長期信用銀行のカルチャー・ショック」というエッセイの最初の部分です。これを参考にして、あなたがニュース報道や新聞記事について疑問に思っていること、気になっていることを400字程度で書きなさい。(40%)

※最初の三行が朝日新聞の記事で、その下が記事についての村上春樹の意見です。

ごくごく一部とはいえ、女子行員が制服から私服に変わったことは、やや大げさにいえば、日本長期信用銀行の男子行員にとって、カルチャー・ショックだった。全員まとめて「女の子」だったのが、競争相手の「同僚」へ。それが文字通り目に見えた。

(昭和六十年十二月九日・朝日新聞)

文章の一部だけを引用して批判するのがフェアじゃないことはジュウジュウ、承知の上だけれど、僕はこの手の文章は個人的にあまり好きではない。たしかに状況を要領よくまとめてはあるが、ひっくりくり方が単純明快すぎて、今ひとつ文章全体に信頼感が持てない。読んでいて、本当にそうなのかなと疑問が湧いてくる。

たとえば日本長期信用銀行の男子行員たちは、女子行員の制服が私服に変わったことによって、みんなが本当に「わあ、これはカルチャー・ショックだよ」と思ったのだろうか？ そんなことはないと思う。中には「制服が私服に変わったって、なんてことないんだな」と思った人だっているだろうと推測する。あるいは中にはひとりくらい「え？ 私服になってたんですか？ 三日前から？ 気がつかなかったなあ」という人だっているんじゃないだろうか？ 僕は会社勤めをしたことがないので、確信をもって断言することはできないけれど、人が集まる場所必ずバラケのようなものはあるし、それは銀行だって文壇だってそれほどのはわりはないんじゃないかという気がする。集団というのはそういうものである。みんなが同じ考えをもって、みんなが同じ感じ方をするものではないと思う。女の子が私服を着ることをうっとりしいと感じる人もいれば、なかなか可愛いと感じる人もいると思う。それを「日本長期信用銀行の男子行員にとって、カルチャー・ショックだった」という記述だけで断定的にしめくくるのは、これはいささか強引なのではないだろうか。僕はこの文章を読んで、とても懐疑的になってしまった。それから「女の子」が「同僚」に変質して見えたなんていうのは、もっときめつけすぎである。もちろんそう感じた人もいただろう。でも全員が一致してそういうクリアな結論に行き着いたとは僕にはとても思えない。世界はそんなに単純ではない。

※ジュウジュウ＝重々

※なんてことない＝たいしたことない

※バラケ＝ばらつき、ばらばらになること、まとまりがなくなること

3 「クールジャパン」などの事例を見せて「日本のすばらしさ」を紹介する自画自賛的なテレビ番組が日本で増加していることについて、「うんざりする」という否定的な意見と「自信を持つのは悪いことではない」という肯定的な意見がありますが、これについてのあなたの考えを200字程度で書きなさい。(20%)

※注意：1. 考生須在「彌封答案卷」上作答。

2. 本試題紙空白部份可當稿紙使用。

3. 考生於作答時可否使用計算機、法典、字典或其他資料或工具，以簡章之規定為準。